

2025年度 3月号
はとぽっぽだより

2026年3月2日
社会福祉法人 はとのさと福祉会
神戸大学はとぽっぽ保育所

(078)382-6984
HP <http://hatonosato.or.jp>

日に日に春に近づいているようで、日中の日差しも暖かく感じるようになりました。
2025年度も残すところ1か月。最後までたくさん笑って、時には喧嘩しながら毎日賑やかに過ごしていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

	曜日	3月の行事
3	火	ひなまつり
4	水	誕生日会
5	木	遠足 王子動物園行き(ひまわり、あじさい、ゆり)雨天延期:10日
9	月	お話の会 身体測定(さくら・さくらんぼ)
11	水	わらべうた(ひまわり・あじさい)
13	金	クラス懇談会(ひまわり、あじさい、ゆり、ばら) 身体測定(ちゅうりっぷ)
17	火	お別れ会
19	木	身体測定(ひまわり・あじさい・ゆり・ばら)
21	土	第14回卒園式(ひまわりさんの卒園式。あじさいさんが参列します)
26	木	新しいクラスへ1日ごとに引越しが始まります(～31日まで)
27	金	ぽっぽ食堂

ちょこっと日記

1人のひまわりさんが「あのさ・・〇〇(自分)3月になって欲しくないねん。だって「そ」があるから・・」と話してきたことがありました。「そ」とは?それは「卒園式」でした。小学校に事前に行く機会があった頃から、どの子にも少し変化が見られます。1つまた新しい世界へ向かっていく。期待と不安の気持ちを子ども同士なんとなくわかり合っているようで、わざとふざけ笑っている姿があります。はとぽっぽの子どもたちは少人数だからこそ、一人ひとりの力もしっかりと育てています。それは、これまで50年に渡って卒園していった先輩たちが教えてくれています。これからどんな人と出会って、どんな経験をしながら大きくなっていくのか。寂しくもあり楽しみでもあります。

1年間ありがとうございました

さくら・さくらんぼグループ

4月4人のお友だちから始まった毎日。初めての場所や大人に戸惑い、涙を流す姿もありました。どんな歌が好きかな、どんな抱っこが安心するのかなと一人ひとりと向き合い保護者の皆さまと一緒に悩み、喜び合いながら歩んできた一年でした。今では8人のお友だちと笑顔で真似っこ遊びや自然と集う姿に成長を感じます。一緒に過ごしてきたこの生活がみんなにとって大好きで安心できる居場所になっていたら嬉しいです。

ちゅういっぷグループ

4月当初は環境の変化や新しい友だちに慣れず泣いていた子もいましたが、だんだん友だちや保育者の顔を見て安心するようになりました。「イヤ」「じぶんで」と言葉が出てきて意志もはっきり主張できるようになりました。思いや言葉が出るようになり、友だちにわかってほしいとぶつかることもありました。そんな中でも友だちと遊びたいという気持ちが少しずつ芽生えてきて、今では保育者と手を繋ぐより、友だちが良いと友だち大好きなクラスになりました。

ぼら

しっかりとしているようでまだまだ甘えん坊なぼら組さん。自分の気持ちを伝えたり、友だちと気持ちをぶつかり言い合いになり、取っ組み合いのけんかをしたりと賑やかでした。進級した頃は幼さがあった子どもたちも年度末に近づくとつれ幼児さんにお世話してもらえばかりでなく友だちとして一緒に遊べる仲間になりました。これからもみんなと一緒に元気に成長して欲しいと心から願っています。

ゆい

ごっこ遊びが好きで、レストラン・消防隊ねこ等様々なものになりきって遊んできました。全力で遊んだ後、「楽しかったね！またやりたい。」と言ってくれた時には、本当にうれしかったです。次第に子どもたち同士で遊びを広げていき、役割も決めていたことには驚きました。子どもたちと一緒にイメージを膨らませ、どんな時も全力で遊び・思いをぶつけてくれた時間は本当に楽しかったです。1年間ありがとうございました。

ひまわり・あじさい

進級当初は「僕のこと聞いて！」と自身の思いを伝えることが多く見られた子どもたち。遊びや行事を行う中で友だちの思いに気付いたり、友だちの声に耳を傾ける姿が見られるようになりました。生活発表会の劇づくりでは、互いの姿を認め合ったり、励まし合う姿も多く見られました。4月からは1つ大きなクラスや小学生になりますね。ひまわり組の子どもたちはそれぞれ違う小学校に通います。はとぼっぼ保育所で過ごした日々を思い出して頑張ってもらいたいと思います。

